

いまもあしたも誇れる座間であるために...

発行者：おぎはら健司  
メールアドレス：info@ogiharakenji.com  
連絡先：042-705-5119 (ファックスも同じ)

# おぎはら健司の市政レポート

## 平成28年度予算案の事業概要

今週の金曜日(25日)に閉会する平成28年第一回定例会ですが、各常任委員会での審議が全て終了し、本日この後、予算決算常任委員会にて各常任委員会の審査報告が行われる予定となっておりますが、平成28年度予算の事業の中で、主だったものや新規事業等についていくつかご紹介したいと思います。

待機児童解消に向けた取り組みについて、市内初めてとなる小規模保育施設が相模が丘五丁目に開設される予定で、0～2歳児を対象とし19名の定員増が図られます。あわせて、無認可保育園の認可化や、前記した小規模保育施設に隣接する土地で同じ法人による新たな保育施設の開園(平成29年度メド開園)や南栗原に60名程度の定員数の保育園が平成30年度開園を目標として整備され、さらには乳児対象の保育施設の認可化など、積極的な保育施設の整備が進められる計画となっております。

また、市政広報関係では、私が平成25年第四回定例会の一般質問で提案した「スマホに対応した座間市ホームページへの改良」や「ゴミ分別促進アプリ導入による資源分別の推進」などについても取り組まれる予定となっております。予防注射接種スケジュールのメール配信の導入、市マスコットキャラクターざまりんのHP作成など、ICT化が推進される予定になっていきます。

ハーモニーホール座間の運営では、現在は毎週月曜日や年末年始が定休日となっているところを、月曜日の定休日を廃止し、年末年始のみの定休とする事で、市民の皆さんに、より使いやすい施設として開放される予定となっております。また、私が所属する健康福祉常任委員会所管となっているスカイアリーナ座間(市民体育館)の定休日についても、平成28年度中に月曜開館についての検討を進め、早ければ平成

29年度から変更される事が委員会審議で明らかにされました。

コミュニティバス運営事業の見直しについては、現状では明らかに出来ないのが残念ですが、特に相模が丘地域住民の方からの要望に沿った方向で乗り残し対策のための定員増や行程の見直しについての検討が進められており、早ければ今年末、遅くとも平成29年度当初からの見直しが検討されています。

## 児童ホームの運営改善について

今定例会の一般質問では、地元の少年サッカーチーム「FC相模野」のコーチ仲間からの相談を受け、子育て支援に関連して児童ホーム運営について質問しました。

現行、市内11ある小学校それぞれに一つずつの児童ホームが設置され、加えて待機児用のホームが3園整備されていますが、利用する保護者で組織されている「座間市学童保育連絡協議会」から毎年要望が挙げられている、小学校内併設型への完全移行(現在は4つの小学校のみ校内併設)や運営時間の延長(現在は18時半までで、保育園は最大20時まで延長保育実施。つまり、保育園のお迎えより最大で90分早い時間に仕事を終わらせなければならない状況)について、改善を求めました。

特に、相模が丘小学校区の児童ホームは現在相模が丘コミセン内にあり、一方で相模が丘小・相模野小・相武台東小の待機児用児童ホームが相模が丘小学校内に併設されているというねじれ現象の改善について質問をしましたが、まずは現状を調査し検討に入るといった旨の答弁を引き出す事ができました。

これにとどまらず、実現に向けて引き続き努力して参ります。